

暑熱対策の準備はできていますか？ - 養豚編 -

梅雨入りしたにもかかわらず、雨は降らず、暑い日が続いています。

特に、豚は暑さに弱い動物（厚い皮下脂肪のため体に熱がこもる、汗腺が退化し汗が出せない）です。暑熱対策を十分実施しなければ繁殖成績や産肉成績低下の原因にもなります。飼養環境を点検し、きちんと暑熱対策に取り組みましょう。

★暑熱対策の点検項目★

- 1 豚舎内の換気
- 2 豚舎周りの冷却
- 3 適正な飼養密度
- 4 飲水装置の確認
- 5 ビタミン剤の補給
- 6 衛生害虫の駆除
- 7 健康観察



*裏面にそれぞれの項目の説明をしてあります。

○エコ・節電に努め、経営・豚・人に無理が無いように、この夏を乗り切りましょう！

[電力のかからない暑熱対策 ～涼しい豚舎環境は暑熱対策の基本です～]

- 直射日光や西日の当たる場所には、ゴーヤなどのつる性植物を植えたり、よしずや寒冷紗を設置
- 屋根を白く塗ったり、照り返し防止に豚舎周囲の植樹や花のプランターを設置
- 豚舎内の風通しをよくするために、舎内の整理整頓や豚舎周辺の草刈りを実施



[今すぐできる節電対策 ～節電はコスト縮減・経営改善につながります～]

- 使用していない電気プラグはコンセントから抜いておく
- 畜舎内の照明を消費電力の少ないものに変更（LED照明など）
- 換気扇・カバーのホコリ・クモの巣の掃除も効果的です

～もし停電しても、慌てて困らないように、今一度畜舎環境を点検しましょう～

☆暑熱対策の点検項目☆

- 1 豚舎内の換気 窓を開けたり、換気扇を利用して換気をよくしましょう。また、風の通り道が一方向に流れるように窓の開け方を工夫しましょう。
- 2 豚舎周りの冷却 豚舎周りの雑木や草の整備、窓に寒冷紗を張るなどして豚舎周辺の冷却に努めましょう。
- 3 適正な飼養密度 豚は体熱の放出が大きく、密飼いをすると極端に環境が悪化し、ストレスがかかります。
- 4 飲水装置の確認 ニップルから十分に水がでているか、頻繁に確認しましょう。
- 5 ビタミン剤などの補給 必要に応じて飼料に添加しましょう。
- 6 衛生害虫などの駆除 ストレスを軽減しましょう。
- 7 健康観察 よく観察し、異常の早期発見に努めましょう。

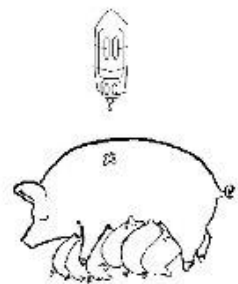
暑熱対策にペットボトルと氷水は、いかがでしょうか？

夏季の分娩豚は、分娩・授乳のストレスに加えて暑熱によるストレスが重なるため、食欲不振や体調不良をおこしやすく、分娩後の泌乳量の減少や、離乳後の繁殖成績の低下を引き起こします。低コストで、排出汚水量も少ない、ペットボトルを利用した氷水の滴下による授乳豚の暑熱対策を紹介します。

やり方は簡単！

水を入れて凍らしたペットボトルを授乳母豚の上につるすだけ。

- (1) 2Lのペットボトルの8分目まで水を入れて凍らせます。
*一杯まで入れると破裂します。
- (2) 板やひも・袋を利用して授乳母豚の首筋～肩の上に逆さにして吊します
*母豚が届かない高さに吊してください。
- (3) なくなったら取り替えます。



~~~~~  
これだけのことで、何もしない豚より最高体温が下がり、発情再帰日数も短くなる傾向がありました。(水の散布等の1/10しか水を使いません)

飼養衛生管理基準に基づく衛生管理の徹底を忘れずをお願いします！

- ▲ 日々の作業にあたっては、こまめに水分を補給するなど、熱中症に対して十分な対策をとって下さい。

京都府中丹家畜保健衛生所（福知山市字半田 371-2）  
TEL:0773-25-1860 FAX:0773-25-1861 休日・夜間転送